



第九十三号

三味線組歌

メルマガnoichi93号、今月のテーマは「三味線組歌」。

日本固有の楽器である三味線は、日本音楽史上の最高傑作といえます。

今月は、三味線が伝承芸として発展した源流に遡り、三味線音楽の魅力に再度迫ります！



三味線は日本音楽の歴史上最も重要であり、最も広く演奏されてきた楽器です。今月のテーマ「三味線組歌」について述べる前に、三味線の歴史と概要を改めて簡単に説明したいと思います。三味線の歴史は比較的新しく、琉球から伝来した蛇皮の楽器に由来しています。琉球から伝わったその楽器を最初に手にしたのが琵琶法師であったことから、琵琶の奏法が多分に取り入れられ、楽器の改造にも大きな

影響がありました。はじめは、流行歌や民謡の伴奏として使われましたが、やがて伝承芸に相応しい芸術的な音楽が作られるようになり、それが、三味線音楽としての最古典「三味線組歌」となります。三味線組歌は盲人の専門家を養成する必修曲であるなど、当初は重要な位置付けにありましたが、現代では演奏できる人が少なくなり、伝承の先細りが危惧されてきました。今から五十年ほど前のことになり

ますが、「三味線組歌」を後世に伝えるべく、日本を代表する三人の地歌演奏家、東京の初代米川文字先生、京都の萩原正吟先生、大阪の菊原初子先生、三都市を代表する偉大な先生方が旗手となり「三味線本手組歌の会」（通称「本手会」）を発足しました。本手会は、年に一度演奏会を開催し、毎年順番に三都市を巡演することになっています。当方奥田雅楽之一も十年ほど前に母の勧めで入会させて頂き、東京でご先代の意志を引き継がれた米川文字先生の御指導を仰ぎ、年に一度の演奏会に参加させて頂いております。回を重ねるごとに有志が加わり、研究の成果もあって、「三味線組歌」の歴史的、音楽的価値が見直される様になってきました。

去る二月二日、大阪の国立文楽劇場にて第五十七回となる定期演奏会が開催されました。開会に先立ち、菊原初子先生の後継者であられる菊原光治先生の所感がプログラムに掲載されました。以下、転載させていただきます。

初子先生がお元気な頃、本手会がある度に、夜遅くまで私に稽古をつけて下さいました。

「わて弾かんでもエエねんけど、あんたの為に弾いてんのやで」そう仰っていたことが思い出されま

す。

そうなんです。昔から専門家としての必修曲であった本手は、自然と体で覚えていらつしやった初子先生は「楽譜として書き留めておかんと廢れてしまうわな」と箏組歌四十八曲と三味線組歌三十二曲全てを楽譜にして下さいました。そのお陰で今こうして大勢が弾かせて頂く事が出来ております。有難い事です。

◎出演のご案内◎

「にっぽんの芸能」 源氏物語をえがく

日時：3月1日(金) 23時～

3月4日(月) 正午～(再放送)

放送局：NHK-Eテレ

曲 目：うた語り「夕顔」

◎演奏会情報(出演曲)◎

「四月大歌舞伎」 夜の部《黒塚》

日にち：4月2日(火)～26日(金)

開 演：16時30分

会 場：歌舞伎座

雅楽之一の出演日は後日Twitterにてお知らせさせていただきます。

「明日をになう新進の舞踊・邦楽鑑賞会」

日にち：4月20日(土)

開 演：15時

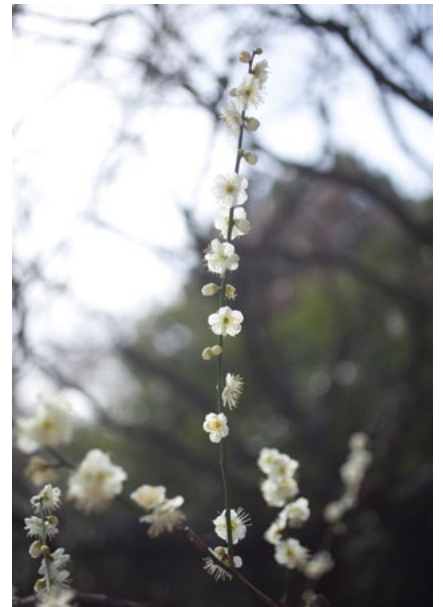
会 場：国立劇場小劇場

入場料：3,200円

出演曲：乱

三味線音楽は人形浄瑠璃や歌舞伎に代表される劇場音楽、今や外国人にも通じる「ゲイシャ」が専門とする座敷音楽、近年流行した津軽三味線、他にも新内、民謡など、その種類は多岐にわたっています。三味線という一つの楽器からこれほどまで多岐にわたる芸能が派生したことは、三味線の音色が日

本人にとつて心地よく、他のなにも代え難いものであったからだろうと思います。その全ての三味線音楽のルーツが「三味線組歌」であることをこの機会に再考し、今月の活動の一環として、ご報告させていただきます。



◎あどがき◎

今回の表紙の写真は、山茱萸(さんしゅゆ)という植物の花。ちょうどいまごろ、梅の後に咲いて春を告げるので、ハルコガネバナとも呼ばれる。自宅の裏山には写真の木があつて、毎年この黄色を見ると、あつたかくなるのだなど実感する。サンシユはこれ以外にも別名がいくつかある。赤い実をつけるからアキサンゴ。シユというのはグミという意味だそうで、ヤマグミとも呼ばれる。グミと言ってもお菓子のグミとはまったく違う。少し細長い形の二〜三センチくらいのグミの実は、ちよつと酸っぱいが一応食べられる。小学校のころはよく近所の木から採らせてもらったものだ。食べ過ぎると赤痢になるという噂もあり、スリリングな食べ物でもあつた。サンシユの実の方は食べられないが、枝を生乳に差しておけば、ヨーグルトができるという不思議な話もある。

サンシユはミズキ科の植物。ハナミズキと同様、外来種だ。漢方薬の原料として中国から入ってきた。今回のテーマの三弦と同じく、遠く中国から渡ってきたものと思われる。

グラフィックデザイナー (http://www.1938.jp) みやはらたかお

Illustration: morimoe

